

## 2011年度第2回調査 『ミノムシ・・・その後～オオミノガはどうなったのか?～』

2006年のミノムシ調査では、4種類のミノムシについて調査をし、特にオオミノガヤドリバエの影響で全国的に姿を消してきたオオミノガについて、滋賀県では平野部から山間部まで分布しており、オオミノガの幼虫にヤドリバエが寄生しているものと、寄生していないものが確認できたことから、ヤドリバエの進入初期段階にあることがわかりました。この調査は、新聞やテレビなどの報道関係者からも強い関心を引き、毎年この季節になると問い合わせがありました。

そこで、前回の調査から5年が経ち、4種類のミノムシの分布と、オオミノガへのハエの寄生状況が進行し、オオミノガが姿を消しつつあるのか、あるいは多くの場所で確認できるのかなど、どのように変化しているのかを調査したいと考えています。

### ◎調査方法

1) 前回の調査でオオミノガを確認された方は、その場所にオオミノガがいるか調べてください。  
(前回調査用紙のコピーを同封してあります)

2) 皆さんの身近な場所で見られるミノムシを探し、アンケート用紙の項目に従って記載してください。オオミノガ、チャミノガ、クロツヤミノガ、ニトベミノガについては同封のミノムシ図鑑を参考にしてください。種類が確認できないものはその他の項目に記入してください。

ミノムシを枝などからはずしても、近くに戻しておけば幼虫は自分でまた枝に戻ります。木の高い所についているものは、木に登るなど無理をせずに見られる範囲で結構です。

ミノの中に幼虫がいるかは軽くつまんで硬いものがあれば中に幼虫が入っています。また、ミノの上部から中をのぞくと幼虫の頭が見えます。ミノの中を見る場合、はさみで切り開いてください。

### 3)ミノムシ標本の採り方

枝についているものは、可能であれば枝ごと(枝はミノムシとの接触部分が分かる程度の少量でよい)採ってください。枝を切れない場合はミノムシだけ枝からはずしてください。

**・ミノの中に幼虫が入っている場合、同じ場所で同じ種類だと思われる物は、複数の標本を送る必要はありません。**

**・幼虫が入っていない4cm以上の大型の囊はできるだけ送ってください。(寄生の有無を確認します)**

### 4) ミノムシ標本の送り方

生きた幼虫が入っている囊は厚めのポリ袋にしっかり入れ、つぶれないようにお菓子箱など工夫した入れ物に入れてください。封筒の厚さは1cm以内でお願いします。幼虫が入っていないものはポリ袋だけで結構です。アンケート用紙と一緒に博物館あてに送って下さい。


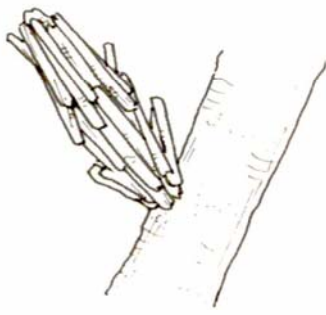
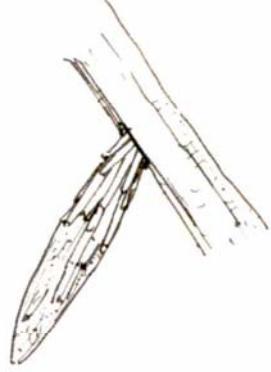

**・標本を入れる箱には採集場所、日時などのデータを書き込んでください。**

写真を撮る場合は出来るだけ大きく、ミノムシが枝などについている様子がわかるように撮影して下さい。

### ◎調査期間

2011年11月20日～2012年2月29日

ミノムシ図鑑

<p>オオミノガ</p>  <p>形：紡錘形          大きさ：40～50mm          固定の仕方：上端は細くぶら下がる          材料・素材：短い小枝や葉片</p>	<p>チャミノガ</p>  <p>形：円筒形          大きさ：25～40mm          固定の仕方：枝に対して斜めに直接つく          材料・素材：表面に小枝をびっしり縦に並べてつける</p>
<p>クロツヤミノガ</p>  <p>形：細長い円筒形          大きさ：35mm 前後          固定の仕方：上端を広く固定          (建物につくことも多い)          材料・素材：葉や樹皮小片を密着</p>	<p>ニトベミノガ</p>  <p>形：紡錘形          (オオミノガに似る)          大きさ：30～40mm          固定の仕方：上端は細くぶら下がる          材料・素材：表面に大きく切った葉片をつける。          囊の入口に幼虫の頭の脱皮殻をつける</p>

◎ミノムシはミノガ科の蛾の幼虫の総称です。

ミノガ科は小型～中型種で、日本からは現在 20 種以上がいて、未記載種もまだまだあるようです。滋賀県に何種類のものムシ(ミノガ科)がいるのかはまだよくわかっていません。

◎オオミノガの一生

ミノムシは寒い冬を囊の中で幼虫のまま越します。そして春、4月下旬ごろから蛹になり、約1ヶ月後成虫になります。メスは成虫になっても翅が生えることなく一生をミノの中で過ごします。オスは成虫になると羽が生えメスの入っているミノまで飛んできて交尾をします。交尾後ミノの中で数千個の卵が産みつけられ、2～3週間で幼虫が羽化してきます。その間にメスは死んでしまいます。生まれたばかりの幼虫は、ミノの外に出て糸を長く延ばし垂れ下がり、風に揺られて、新しい枝や葉に移っていきます。幼虫は小さなミノを作り木の葉を食べて大きくなります。秋までに7回脱皮し、また冬を迎えます。

◎オオミノガに寄生するハエ

オオミノガがハエ寄生されている場合は囊の中に多数のハエの蛹が見つかります。蛹の大きさは約5mm程で、数個から数十個入ってます。

参考文献：原色日本蛾類幼虫図鑑、三重県立博物館「ミノムシ調査」、みんなで作る日本産蛾類図鑑 (HP)

こんなところを探してみよう

- ・公園、学校、社寺の木
- ・前回調査報告がなかった湖西や湖北地域、近江八幡、八日市、日野、土山などの周辺が空白になっているので、機会があればさがしてみてください

お願い

植木屋さんは仕事柄ミノムシを見る機会が多いため、お知り合いの方がいる人は、是非、ミノムシについて尋ねてください。